

No.とプログラム名	<b>No.5 「みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう！ 社会教育士のお仕事」</b>
実施日・回数	8月7日（水）10：00～12：00 計1回実施
会場	【磯子区】横浜市社会教育コーナー 研修室A
参加児童数	2人
企業・団体等名	横浜市社会教育コーナー
参加の目的 (150文字程度)	新しい称号である「社会教育士」について、子どもたちに知ってもらおう。また「みんなが笑顔になれるまち」をテーマに、楽しく自分たちが暮らすまちに関心を持ち、まちづくりを自分ごととして捉えてもらうきっかけをつくる。

## プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

だれもが自分らしく、いつまでも安心・安全に住み続けられる「みんなが笑顔で暮らせるまち」のためにできることを、クイズやグループディスカッションを通して楽しく参加者みんなで考える

## 当日の流れ

- 1 10時00分～10時15分：オリエンテーション、社会教育とは
- 2 10時15分～10時25分：参加者の自己紹介
- 3 10時25分～10時50分：「まちづくり」クイズ
- 4 11時00分～11時15分：まちの魅力再発見
- 5 11時15分～11時45分：みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう！
- 6 11時45分～12時00分：ふりかえり、修了証



「社会教育士」とはの話を聞いている様子



得意ダーツで自己紹介をする様子

## 参加児童の様子や意見、感想など

私たちのまちには、いいお店や自然をいかした場所などがいっぱいあることに気付いた。明日からみんなが笑顔になるようなことをやっていきたいとも思うし、困っているひとがいたら積極的に声をかけてあげたい。



グループディスカッションの様子

## 企業・団体の気付きや感想など

当日参加の児童は、プログラムに対して1つ1つ丁寧に熱心に取り組み、自分で考え、自分の言葉でしっかり発言し、主体的に参加してくれました。

残念ながら、参加人数が少なかったため、参加者同士で対話を通じて学び合う時間は充分にとれませんでした。

しかし、本プログラムを通じて 1. 主体的に考える、2. 自分の暮らすまちへの関心を深める、3. 自分ができることを自ら考える等、豊かな気づきの時間と空間を提供できたようで、プログラム提供側としても、うれしく思いました。

改めて子どもたちが社会教育士の仕事を通して「まちづくり」を自分ごととしてとらえ、主体的に未来のまちづくりに関わる意識を持ってもらえるような場とその仕組みづくりのための仕掛けをたくさんつくっていきたいと考えます。

今回集客が課題でしたので、次回は子どもたちにも伝わるタイトルを工夫したいと思います。